

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 令和 2 年 6 月 4 日

市所管部署 石巻市 産業部商工課

2 法人名称等

法人名称 株式会社街づくりまんぼう
 法人所在地 石巻市 中瀬2番7号
 設立年月日 平成 13 年 2 月 5 日
 代表者職・氏名 代表取締役社長 西條允敏

設立目的・経過
 「人の光が街をかえる」を経営理念とし、宮城県石巻市の中心市街地52ヘクタールの商業活性化を中心とした街づくり活動にとどまらず、広く公益的な立場のもとに、「まちおこし」「産業振興」「人材育成」を果たし石巻市全体の活性化に貢献することを目的とする。

3 定款上の事業内容

- (1) まちづくりに関する企画立案、調査ならびにコンサルタント業務
- (2) 商業振興を図るための企画、指導及び情報提供ならびにコンサルタント業務
- (3) 観光、会議、集会等施設、駐車場、店舗その他施設の企画、建設及び運營業務
- (4) マンガキャラクター商品、出版物の企画、制作及び販売
- (5) 喫茶店、レストランの経営 ほか

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
63,000 千円	30,000 千円	47.6 %	個人	1,900 千円	3.0 %
			石巻商工会議所	1,000 千円	1.6 %
			石巻信用金庫	1,000 千円	1.6 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員

	H29期末	H30期末	R1期末
常勤	1	1	2
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	12	12	12
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0
計	13	13	14
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員

	H29期末	H30期末	R1期末
常勤	21	23	22
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	0	0	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	21	23	22
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

株式会社街づくりまんぼうは、中心市街地52ヘクタールの商業活性化はもとより、公益的な立場のもと、観光、農林水産業をふくむ地域産業の活性化や街づくりを推進するために、自らの収益力を高め石巻市全体の活性化に貢献することを目的としています。

(事業方針)

- 1. 経営理念である「人の光が街をかえる」を合言葉に、明るく活力のある運営をします。
- 2. 人の和をたいせつにしながらも、規律のある心構えをもちます。
- 3. まちおこし、産業振興、人材育成を果たすため、収益性を高める努力を惜しみません。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成30年度期	令和元年度期	令和2年度期	令和3年度期	令和4年度期
石ノ森萬画館有料入館者数	人	目標計画	80,000	80,000	56,000	80,000	80,000
		実績	91,178	102,314			
目標・指標の説明			かわまちエリアを中心とした諸施設と連携し来街されるお客様の増加に努める。さらにオリジナリティのある展示や各種イベントの開催等によって有料来館へとつなげる。				
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		平成30年度期	令和元年度期	令和2年度期	令和3年度期	令和4年度期
物販売上高	千円	目標計画		83,000	52,000	85,000	85,000
		実績	86,172	109,707			
目標・指標の説明			石ノ森萬画館入館者増に伴う店頭販売売上額の増加に加え、外部での委託販売、通信販売の強化に努める。また各種イベントでの出張販売も積極的に行う。				
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
石ノ森萬画館運営事業	数多くのイベントを開催し、あわせてSNSでの情報発信やマスコミ等への露出を増やし来館への動機づけを行った。また当館でしか観ることができないオリジナリティのある企画展を開催したことが来館者の増加につながった。	石ノ森萬画館の入館者数は、対前年比で総来館者数119.4%、有料観覧者数112.2%となった。かわまちエリアを中心とした関係機関と連携し、相乗効果を生み出すことができたと感じている。	遠くからでもわざわざ観に来るような話題性のある展示や企画を行った。また数多くのイベントを開催することで集客へつなげた。またSNSでの情報発信やマスコミ等への露出を増やし、来館していただくためのきっかけづくりを行った。
事業の公共性、公益性	石ノ森萬画館への集客を行い、来館者に市街地への周遊を促している。さらに石巻市はもとより関連機関と連携した企画や広報・営業活動を行い、石巻圏域への観光客増加を図っている。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
街中復興推進事業	堤防一体空間の利活用や中心市街地まちづくり計画、各商店街まちづくり支援等、地域の関係機関と一緒に検討実践を重ねてきた。またマンガロードの整備拡充も行った。	かわまちエリアを中心に賑わい創出に貢献できたと捉えている。今後は堤防の完成に伴う堤防一体空間の利活用、市街地の道路のわかりにくさ、駐車場の収容台数不足などへの対応が必要だと感じている。	いしのまき元気いちばのオープン、かわまち立体駐車場の供用開始、橋通りCOMMONのリニューアルオープンなどを契機に、地域が連携して市街地の賑わい創出に貢献できたと考えている。
事業の公共性、公益性	関連施設や地域住民の方々と連携を図りながら、市街地の復旧復興に向けた事業を行っている。		

9 市が期待する役割、市意見等 (担当部署記載)

別紙のとおり。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	株式会社街づくりまんぼう
------	--------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表 (B/S)	借方(科目)	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
	流動資産	130,213	136,309	6,096	141,761	5,452
	うち 現金・預金	91,201	82,756	▲ 8,445	86,519	3,763
	固定資産	15,899	19,034	3,135	19,395	361
	有形固定資産	4,897	8,532	3,635	8,556	24
	無形固定資産	20	20		20	
	投資その他の資産	10,982	10,482	▲ 500	10,819	337
	資産の合計	146,112	155,343	9,231	161,156	5,813
	貸方(科目)	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
	流動負債	27,989	34,901	6,912	28,755	▲ 6,146
	うち 短期借入金	2,400	2,200	▲ 200		▲ 2,200
	固定負債	2,200		▲ 2,200		
	うち 長期借入金	2,200		▲ 2,200		
	負債合計	30,189	34,901	4,712	28,755	▲ 6,146
	純資産	115,923	120,442	4,519	132,401	11,959
	うち 資本金	63,000	63,000		63,000	
	うち 資本剰余金					
	うち 利益剰余金	71,273	75,792	4,519	87,751	11,959
	うち その他	▲ 18,350	▲ 18,350		▲ 18,350	
	負債・純資産の部合計	146,112	155,343	9,231	161,156	5,813

損益計算書 (P/L)	科目	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
	売上高	258,981	281,373	22,392	315,058	33,685
	売上原価	185,022	203,503	18,481	216,074	12,571
	売上利益	73,959	77,870	3,911	98,984	21,114
	販売費・一般管理費	73,831	73,385	▲ 446	80,936	7,551
	営業利益	128	4,485	4,357	18,048	13,563
	営業外収益	4,453	1,917	▲ 2,536	305	▲ 1,612
	営業外費用	128	82	▲ 46	23	▲ 59
	経常利益	4,453	6,320	1,867	18,330	12,010
	特別利益	948	107	▲ 841	267	160
	特別損失					
	税引前当期純利益	5,401	6,427	1,026	18,597	12,170
	法人税等	1,673	1,908	235	6,638	4,730
	当期純利益	3,728	4,519	791	11,959	7,440

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

区分	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減	
キャッシュフロー計算書（C/S）	営業活動によるキャッシュフロー	20,614	2,012	▲ 18,602	10,083	8,071
	税引前当期純利益	5,402	6,427	1,025	18,597	12,170
	減価償却費	2,260	4,921	2,661	3,759	▲ 1,162
	有形固定資産売却益	▲ 738		738		
	有形固定資産除却損					
	受取利息及び受取配当金	▲ 3	▲ 3		▲ 9	▲ 6
	雑収入		▲ 2,022	▲ 2,022	▲ 564	1,458
	支払利息	129	83	▲ 46	23	▲ 60
	売上債権の増加額（減少額）	9,359	▲ 12,301	▲ 21,660	▲ 1,112	11,189
	棚卸資産の増加額（減少額）	3,100	3,058	▲ 42	1,301	▲ 1,757
	仕入債務の増加額（減少額）	▲ 2,082	6,210	8,292	▲ 5,486	▲ 11,696
	その他流動資産の増加額（減少額）		▲ 5,298	▲ 5,298	▲ 1,878	3,420
	その他流動負債の増加額（減少額）	4,102	997	▲ 3,105	▲ 3,072	▲ 4,069
	利息及び配当金の受取額	3	3		9	6
	雑収入		2,022	2,022	564	▲ 1,458
	利息の支払額	▲ 129	▲ 83	46	▲ 23	60
	法人税等の支払額	▲ 789	▲ 2,002	▲ 1,213	▲ 2,026	▲ 24
	投資活動によるキャッシュフロー	▲ 820	▲ 8,057	▲ 7,237	▲ 4,120	3,937
	有形固定資産の取得による支出	▲ 2,603	▲ 8,557	▲ 5,954	▲ 3,783	4,774
	有形固定資産の減少額	738		▲ 738		
その他投資	1,045	500	▲ 545	▲ 337	▲ 837	
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 2,200	▲ 2,400	▲ 200	▲ 2,200	200	
株式の発行による収入						
資金の借入による収入						
借入金の返済による支出	▲ 2,200	▲ 2,400	▲ 200	▲ 2,200	200	
現金及び現金同等物に係る換算差額						
現金及び現金同等物の増減額	17,594	▲ 8,445	▲ 26,039	3,763	12,208	
現金及び現金同等物期首残高	73,607	91,201	17,594	82,756	▲ 8,445	
現金及び現金同等物期末残高	91,201	82,756	▲ 8,445	86,519	3,763	

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）				2,396	2,396
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）				2,396	2,396
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）					
委託料及び指定管理料	55,000	63,348	8,348	71,509	8,161
借入金（期末残高）					
短期借入金					
長期借入金					
出資・出捐（期末時）					
債務保証額（期末残高）					
損失補償額（期末残高）					
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）					

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社街づくりまんぼう

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

- ・税引前当期純利益が12,170千円増加したことにより、現金及び預金が昨年度末と比べて、3,763千円増加した。
- ・加速化事業の補助金金額の未決定による費用部分の仮払金が7,225千円計上されている。
- ・コロナ休業補償金として、仮受金3,600千円が概算計上されている。
- ・「橋通りCOMMON」事業に係る借入金の返済については今期で返済が終了した。資金繰りについても問題は生じていない。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
現金及び預金	3,763千円増	総括分析参照
仮払金	1,877千円増	総括分析参照
仮受金	3,660千円増	総括分析参照

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

- ・4～6月に石ノ森萬画館で開催した企画展「平成仮面ライダー20展」の盛況により、入場料収入が8,371千円増加した。
- ・「街づくり部門」として中心街収入（石巻市中心市街地活性化基本計画策定支援業務、石巻市マンガロードモニュメント設置委託業務、石巻市マンガロード周遊促進webサイト管理運営業務委託等）の10,986千円が増加した。
- ・石ノ森萬画館来館者増に伴い、グッズショップ、喫茶を中心とした収益収入高が14,153千円増加した。
- ・去年は保険金収入が計上されていたが、今年はないため雑収入は1,617千円減少した。

上記の要因により、経常利益が昨年より12,010千円増加した。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
入場料収入	8,371千円増	有料入館者数増加による（+11,136人）
中心街収入	10,986千円増	中活基本計画策定支援業務、マンガロードモニュメント設置業務、マンガロードwebサイト業務等の新たな受託による
収益収入高	14,153千円増	石ノ森萬画館来館者増に伴い、グッズショップ、喫茶を中心に売り上げが増加

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

<ul style="list-style-type: none"> ・「売上債権の増加額」及び「その他流動資産の増加額」等により営業活動に係るキャッシュフローが10,083千円増加した。 ・「有形固定資産の取得による支出」及び「その他投資」により投資活動によるキャッシュフローが4,120千円減少した。 ・「借入金の返済による支出」により財務活動に係るキャッシュフローが2,200千円減少した。 <p>以上により令和元年度（自：平成31年4月1日 至：令和2年3月31日）における現金及び現金同等物の増加額は3,763千円となった。</p>

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
税引前当期純利益	18,597千円増	主に萬画館入場料収入、物販収入、中心街収入、委託料収入等の増加による
有形固定資産の取得による支出	3,783千円減	ブロンズ像3体（仮面ライダー1号&2号、サイボーグ009）及び台座の制作による

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途
石巻市商店街再生加速化支援事業	2,396,390	009、仮面ライダーBlackのモニュメント制作、AIスタンプラリーシステム提供等

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
石巻市中心市街地活性化基本計画策定支援業務	5,292,000	石巻市中心市街地活性化基本計画を策定するための補助業務
石巻市マンガロードモニュメント設置委託業務	5,346,000	仮面ライダー、サイクロン号のモニュメント制作
マンガモニュメント修繕業務	330,000	さるとびエッチちゃんモニュメント修繕
石巻市マンガロード周遊促進webサイト管理運営業務委託	1,793,000	マンガロードwebサイト制作及び管理運営
石巻市マンガロードモニュメント設置委託業務	2,851,200	ハカイダーモニュメント制作
マンガギャラリー新規台座設置委託業務	896,400	似顔絵石板設置
石ノ森萬画館指定管理業務	55,000,000	石ノ森萬画館管理運営

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由
石ノ森萬画館の一部	1,331,896	石巻市行政財産目的外使用許可処理基準に該当
市役所5階 市民サロン	6,291	石巻市行政財産目的外使用許可処理基準に該当

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：株式会社街づくりまんぼう

担当部署名：産業部商工課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

令和元年度の「石ノ森萬画館有料入館者数」と「入館料売上高」は、目標値及び前年度の実績値を上回っており、良好な経営状況である。

令和元年度より新たな目標として掲げた「物販売上高」においても店頭販売売上額が増加しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止による外出の減少により、今後は通販等も強化していただきたい。

また、様々なイベントやホームページ、SNSを活用した情報発信等を実施し、来館者の誘客及び物販売上増加に努めていただき、震災前の水準（平成22年度：有料入館者数78,673人）を維持、または上回る数値を目指していただきたい。

（2）主要事業の成果、課題

石ノ森萬画館運営事業では、萬画館でのみ体験できるイベントの開催やSNSでの情報発信等に取り組みされた結果、「石ノ森萬画館有料入館者数」及び「入館料売上高」ともに前年度の実績値を上回った。街中復興推進事業では、マンガロードの整備の拡充やかわまちエリアを中心とした街なかの賑わい創出に努められたと考えられる。今後も同エリアにおいて、堤防一体空間の利活用や道路等の公共交通の整備が進展していくため、事業の進展により新たに生まれてきた課題（街なかサインの不足等）の解決とともに、同エリア内で生まれた賑わいを中心市街地全体にいかに関与させていくかが今後の街なかの活性化に向けて重要な焦点になるので、さらなる発展・達成に向け引き続き取り組んでいただきたい。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

特になし。

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

特になし。

(3) キャッシュフロー計算書

特になし。

(4) 市による財政・金融支援等

特になし。

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

公益的な立場のもと、中心市街地の活性化や賑わい創出、地域産業の活性化、集客力のあるイベントの開催、魅力ある商品開発の推進などの各種事業を実施することにより、TMOとして中心市街地全体のマネジメントを行う役割を期待する。

また、コロナウイルス感染拡大防止のため、外出の機会が減少せざるを得ない状況下ではあるが、感染防止対策を徹底し、安心して来館していただけるように企画を進めていただきたい。